



九州経済フォーラム 会長 石原 進

設立：昭和61年3月

- ①会員数： 130会員
- ②法人会員 64会員
- ③個人会員 10会員
- ④推薦会員 56会員

【役員】副会長以上

会長	石原 進	九州旅客鉄道(株)	特別顧問
会長代行	貴 正義	九州電力(株)	相談役
副会長	池内 比呂子	(株)テノ、ホールディングス	代表取締役社長
副会長	磯山 誠二	(株)九州リースサービス	代表取締役社長
副会長	梶原 全裕	西日本電信電話(株)九州支店	執行役員九州支店長
副会長	甲斐 隆博	(株)肥後銀行	代表取締役会長
副会長	小林 専司	(一社)福岡県中小企業 経営者協会連合会	会長
副会長	高宮 俊諦	(株)タカミヤ	代表取締役会長
副会長	田中 亮一郎	第一交通産業(株)	代表取締役社長
副会長	出口 治明	立命館アジア太平洋大学	学長
副会長	戸田 康一郎	西日本鉄道(株)	代表取締役
副会長	龍造寺 健介	本多機工(株)	代表取締役社長

【目的】

九州地域に豊かな見識と指導力をもった経済人を育成する。
九州各県の経済界および自治体等の人材の交流促進を図り、九州経済の活性化を促進する。

●主な活動

①各県との交流懇談会（地域間交流懇談会）

九州・沖縄各県の旬なテーマについて産学官連携で議論を行い、課題解決に向けた取り組み、連携の促進を行う。また県を超えた人材ネットワークの確立を図る。



<開催例>

地域間交流懇談会in熊本(2021.11.29～11.30)

- 「コロナ禍で停滞した経済と自然災害からの巻き返し」
- 「企業・行政のDXとデジタル庁の取組」
- 「地域から創ってみせる！DXの力と未来」
- 未来創造ワークショップ

②特別例会

政治、経済、文化、社会活動等で活躍する旬なゲストを迎え、学びと交流の促進を行う。



<開催例>

特別例会（2022.2.20）

- テーマ：金メダルへの道のり～真のチームとは何か～
- 講師：道下 美里選手、樋口 敬洋氏（チーム道下）

③早朝会

正会員（法人・個人・推薦）を中心に持ち回りで講師を行い、各専門分野に対する学びと会員間連携を図ることを目的に年に3回程度実施。



<開催例>

令和4年度5月早朝会(2022.5.18)

- テーマ：懐かしい未来と結の甞生 英彦山最古の宿坊「守静坊」で九州の歴史をつなぐ
- 講師：野見山 広明氏（一般財団法人 徳積財団 理事長）
- エバレット・ブラウン氏（写真家）

④車座談義

全国で活躍されている各界のスペシャリストをお招きし、講演会と交流会を開催。



<開催例>

令和4年度第1回車座(2022.8.5)

- テーマ：自助、共助で国富を増やす
- 講師：長谷川 榮一氏（元総理大臣補佐官兼内閣広報官）

13:00	開会 ◎主催者挨拶 九州経済フォーラム	会長	石原 進 氏
13:10	チェックイン(プログラム/コメンテーター紹介) 長崎大学 リージョンワークス合同会社 株式会社Fusic	教授 代表社員 取締役副社長	上條 由紀子 氏 後藤 太一 氏 浜崎 陽一郎 氏
13:15	オープニングスピーチ テーマ：『変わる長崎～100年に1度の変革～』 長崎県	知事	大石 賢吾 氏
14:15	キーノートⅠ テーマ：『新幹線が“九州”を変える』 九州旅客鉄道株式会社	代表取締役社長執行役員	古宮 洋二 氏
15:10	休憩		
15:30	キーノートⅡ テーマ：『民間主導の地域創生へのチャレンジ』 株式会社ジャパネットホールディングス	代表取締役社長兼CEO	高田 旭人 氏
16:30	パネルディスカッション テーマ：『ながさきBLUEエコノミー』 長崎大学海洋未来イノベーション機構 長崎大学海洋未来イノベーション機構 株式会社昌陽水産 有限会社雄昇水産	機構長 コーディネーター 代表取締役 取締役	征矢野 清 氏 室越 章 氏 長野 陽司 氏 西元 崇博 氏
17:30	ラップアップ		
18:00	交流懇談会（会場：2Fコンベンションホール） ◎挨拶 長崎市 ◎乾杯 九州経済フォーラム ◎閉会挨拶 九州経済フォーラム	市長 副会長 副会長	田上 富久 氏 高宮 俊諦 氏 龍造寺 健介 氏

オープニングスピーチ

テーマ 『変わる長崎～100年に1度の変革～』



長崎県知事
大石 賢吾 氏

2001年 3月 長崎県立長崎北高等学校卒業

2006年 6月 カリフォルニア大学デービス校卒業

2007年 4月 長崎大学熱帯医学研究所勤務

2012年 3月 千葉大学医学部医学科卒業

2012年 4月 千葉大学医学部附属病院勤務

2018年 3月 千葉大学大学院医学研究院

博士課程修了

2020年 4月 厚生労働省医政局 地域医療計画課

救急・周産期医療等対策室 室長補佐

（新型コロナウイルス対策推進本部医療班兼務）

2021年 4月 国立研究開発法人 日本医療研究開発

機構 革新基盤創成事業部 事業推進課 課長

2022年 3月 長崎県知事

懇親会スピーチ



長崎市長
田上 富久 氏

長崎県五島市出身

九州大学法学部卒業後、1980年10月長崎市役所に入庁。

2002年4月観光部観光振興課主幹、

2004年4月企画部統計課長を歴任。「NNU21

（Nagasaki New Umidasu 21）」や広報活動に携わる。

2006年に行われた『長崎さるく博』の提案者で、統計課長と

なってからも「さるくガイド」として参加した。

現在就任中の主な役職

・日本非核宣言自治体協議会会長

・平和首長会議副会長

・長崎県市長会会長

・全国市長会相談役

・九州市長会会長

キーノート I

テーマ 『新幹線が“九州”を変える』



1985年九州大学工学部卒業、日本国有鉄道入社。九州旅客鉄道株式会社 鉄道事業本部新幹線開業準備室長、同運輸部長、同営業部長を務め、九州新幹線 新八代・鹿児島中央間の責任者、クルーズトレイン「ななつ星in九州」のプロジェクトリーダーを担当。その後、取締役総務部長、取締役常務執行役員鉄道事業本部長、取締役専務執行役員総合企画本部長などを歴任し、2022年4月から現職。福岡県出身。

九州旅客鉄道株式会社

代表取締役社長執行役員 古宮 洋二 氏

キーノート II

テーマ 『民間主導の地域創生へのチャレンジ』



1979年長崎県生まれ。東京大学卒業後、証券会社を経て、ジャパネットたかたへ入社。バイヤー部門、コールセンター部門、物流部門の責任者を経て、2010年にジャパネットコミュニケーションズ代表取締役社長となる。ジャパネットたかた取締役副社長を経て、2015年1月、ジャパネットホールディングス代表取締役社長に就任。2019年には通信販売事業に加え、スポーツ・地域創生事業をもう一つの柱とし、更なる取り組みを進める「リージョナルクリエイション長崎」を同年6月に設立。2020年にはあらたにBリーグへの参入を発表しプロバスケットボールクラブ運営会社「長崎ヴェルカ」を設立し、現在はホールディングスを含む5社の代表を務める。

株式会社ジャパネットホールディングス

代表取締役社長兼CEO 高田 旭人 氏



山に囲まれた信州松本生まれ。海への憧れと、「北の国から」の影響を受け北海道大学水産学部に進学する。

北海道では学部と大学院を通して11年間を過ごし、サクラマスとアユの成熟・繁殖メカニズムの生理学的解明に関する研究により学位（博士（水産学））を取得する。その後、長崎大学水産学部助手として採用され、ハタ類の繁殖機構解明と養殖技術開発、環境操作によるブリの産卵の人為的調節技術の開発、環境ホルモンや医薬品由来の化学物質が魚類の繁殖に与える影響解明などの研究を行う。

現在、長崎大学海洋未来イノベーション機構長として、最新の海洋工学技術を導入した養殖の省力化、環境を守りながら水産食糧資源を持続的に確保するための環境保全型養殖の構築、養殖を柱とした魚食の再生と新たな産業創出、の視点から長崎の地域活性化に向けたプロジェクト（ながさきBLUEエコノミー）に取り組んでいる。

長崎大学海洋未来イノベーション機構
機構長/教授 征矢野 清 氏



1990年からヤンマーディーゼル(株)（現ヤンマー(株)）にて水産業関連施設の技術開発・基本設計に従事し、循環養殖設備（活魚生簀、活魚輸送コンテナ等）開発に従事後、高性能アルテミア（海産魚種苗の餌となるプランクトン。）を探し、新疆ウイグル自治区や青海省の高塩地塩湖を彷徨う。

その後、「牡蠣のむき身作業の省力化とノロウイルス対策のための浄化システム開発を行い、「04年度「牡蠣むき身装置の開発」にて日本水産学会技術賞を受賞。

‘05年からは、アメリカ、カナダで「サケ科魚類の循環養殖システム開発」に従事、その後、食糧生産とエネルギー生産兼ねた生産システム開発フィールド探索のため、発展途上国30カ国以上を訪問調査し、中東パーレーンにおいて食糧生産とバイオ燃料生産と乾燥地緑化をインテグレートした生産実証モデル設計・運用した、‘15年からは、海外研究拠点へ赴任し、乾燥地緑化モデルの実用化を推進。‘18年帰国後、中央研究所生物部門主席として生物系研究企画に全般に携わる。2020年1月より現職。

長崎大学海洋未来イノベーション機構
コーディネーター 室越 章 氏



18歳から父が経営する丸昌水産で養殖業に携わる。

たちばな湾でトラフグを中心に養殖業を営む。

2019年株式会社昌陽水産として法人化。同年代表取締役役に就任。

現在もトラフグ養殖が中心ではあるが、2020年から長崎の伝統香酸柑橘「ゆうこう」を餌に育てた「戸石ゆうこうシマアジ」の養殖に挑戦。

2021年6月から市内スーパーを中心に販売を開始。

養殖事業者が既存の市場流通だけに頼っている現状に疑問を感じ、ECサイトでの販売や小売り事業などBtoCの販路開発も積極的に挑戦している。

株式会社昌陽水産
代表取締役 長野 陽司 氏



20歳から有限会社雄昇水産で養殖業に携わる。

有限会社雄昇水産は2004年8月に法人化。

個人事業からは50年ほどのトラフグ養殖の実績があり、現在もたちばな湾でトラフグを中心に養殖をおこなっている。

2021年3月に同社取締役役に就任。

2021年から長崎の伝統香酸柑橘「ゆうこう」を餌に育てた、「戸石ゆうこう真鯛」の養殖を開始。

現在は「戸石ゆうこう鯖」の養殖もおこなっており、市内飲食店や市内スーパーを中心に販売。

養殖事業者が既存の市場流通だけに頼っている現状に疑問を感じ、ECサイトでの販売や小売り事業などBtoCの販路開発も積極的に挑戦している。

有限会社雄昇水産
取締役 西元 崇博 氏



長崎大学教授
上條 由紀子 氏

慶應義塾大学理工学部応用化学科卒、同大学院 理工学研究科 博士課程前期課程(物質科学専攻)修了。慶應義塾中等部理科講師を経て、2000年に弁理士登録。同年太陽国際特許事務所入所。2002年東京大学先端科学技術研究センター特任研究員、2005年慶應義塾大学デジタルメディア・コンテンツ統合研究機構専任講師、2009年金沢工業大学虎ノ門大学院准教授、2018年慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任准教授を経て、2019年10月より現職。現在、総務省情報通信審議会委員、内閣府SIP（戦略的イノベーション創造プログラム）第1期追跡評価WG委員を務める。

長崎大学FFGアントレプレナーシップセンターでは、学部生、院生、社会人履修生向けのアントレプレナーシップ教育・人材育成、大学の研究開発成果に基づく大学発ベンチャー創出支援に取り組みながら、長崎から新産業創出、イノベーション人材の輩出を目指して活動している。



リージョンワークス合同会社
代表社員 後藤 太一 氏

1969年世田谷区生まれ。1992年東京大学都市工学科卒業、鹿島建設入社。1997年UCバークレー校都市地域計画学科修了、米国ポートランド都市圏自治体「メトロ」成長管理局に勤務し、広域政策の立案に携わる。2003年福岡に移り「We Love 天神協議会」「天神明治通り街づくり協議会」「福岡地域戦略推進協議会」の設立・運営に携わり福岡の成長基盤づくりに貢献。福岡での経験を活かし、渋谷区の地域連携基盤構築、徳島県神山町の地方創生、福井市の県都グランドデザインなど、様々な地域で多様な顧客とともに、エリアの戦略と仕組みの構築を泥臭く実践。全国エリアマネジメントネットワーク幹事、一級建築士、米国認定都市計画士（AICP）。



株式会社Fusic
取締役副社長 浜崎 陽一郎 氏

1976年大阪府生まれ。九州大学大学院在学中にIT会社「Fusic」を同級生と2人で起業。「データの共有と分散」という社会の流れに企業・組織が常に追従できるよう、最新技術を使い易い形に最適化して提供している。RKB毎日放送「サンデーウォッチ」、KBC朝日放送「アサデス。ラジオ」レギュラーコメンテーター。

8:30	長崎さるく（事前予約者のみ） 集合：長崎駅観光案内所前		
10:00	開会挨拶 長崎県	副知事	平田 研 氏
10:10	チェックイン(プログラム/ファシリテーター紹介) 株式会社サインウ 株式会社十八親和銀行 地域振興部	代表取締役CEO 調査役	村上 純志 氏 鋤先 晃生 氏
10:20	パネルディスカッション① 長崎県 株式会社Blue Lab 株式会社toitoitoi 長崎市 企画財政部 長崎創生推進室 株式会社十八親和銀行 地域振興部	副知事 代表取締役 代表取締役 室長 調査役	平田 研 氏 宗國 修治 氏 大島 徹也 氏 久保 洋 氏 鋤先 晃生 氏
11:30	昼食休憩		
12:50	パネルディスカッション② 株式会社ワークデザインラボおおすみ 長崎文化放送株式会社 メディアビジネス局 株式会社ジョイフルサンアルファ 長崎市 商工部 産業雇用政策課 株式会社サインウ	取締役 本社営業部長 執行役員 主事 代表取締役CEO	伊藤 俊徳 氏 朝長 孝至 氏 久保井 成正 氏 山田 貫才 氏 村上 純志 氏
13:50	パネルディスカッション③ 一般社団法人東彼杵ひとこともの公社 株式会社QOLL平戸 一般社団法人REPORT SASEBO 株式会社ヌーラボ 株式会社サインウ	代表理事 代表取締役 代表理事 代表取締役 明星和楽実行委員長	森 一峻 氏 井上 翔一朗 氏 中尾 大樹 氏 橋本 正徳 氏 松口 健司 氏
14:50	パネルディスカッション④ 長崎大学経済学部 BugsWell株式会社 国立佐世保高専 株式会社CAC Holdings 大村市産業支援センター	教授 代表取締役 准教授 特別顧問 センター長	西村 宣彦 氏 浪方 勇希 氏 入江 英也 氏 島田 俊夫 氏 若杉 誠司 氏
15:55	閉会挨拶 九州経済フォーラム	副会長	池内 比呂子 氏

テーマ : 『社会課題への挑戦フィールドを地方に見出す』

「地方での活動は、地方の課題解決だけでなく、社会課題の解決につながっていく」というテーマにて、地方でのオープンイノベーション推進の意義について、ディスカッションを掘り下げていく。



長崎県出身。
1991年 東京大学法学部卒、建設省入省。
国土交通省道路局総務課企画官
大臣官房会計課企画官
都市局総務課調整室長、道路局路政課長、土地・建設産業局建設業課長などを歴任し、
2018年7月から現職。

長崎県副知事 平田 研 氏



1991年早稲田大学大学院理工学研究科電気工学専攻修士課程修了。同年日本興業銀行入行。
99年スタンフォード大学経営工学及び統計学修士課程修了。金融工学のキャリアが長く、デリバティブ取引を含む各種金融商品の理論時価評価・リスク量計算、数理モデル・統計学を活用した事業会社への戦略コンサルティングなどの業務に計16年間従事。環境・エネルギー・資源領域のアナリストを4年間、みずほ全体のクレジットポートフォリオ管理を2年間務めたのち、2018年より、社会課題の解決、お客様のニーズに応える新規事業の開発に従事。2020年より現職

株式会社Blue Lab
代表取締役 宗國 修治 氏



1984年、長崎県南島原市生まれ。38歳。長崎大学経済学部卒業後、リクルートコスモス（現コスモスイニシア）にて不動産開発に従事し、退職後、バックパッカーとして旅をしながら、国内外で活動する日本人に出会い、ふるさとである長崎の魅力を発信するべく株式会社toitoitoiを設立。
長崎市茂木地区にて「地域まるごとホテル」をコンセプトにした宿泊施設2軒、飲食店1軒を運営。
宿泊施設【月と海】は若者から人気の宿としてコロナ禍ながら各種取材を受ける。
2022年5月には宿泊施設に併設したオープンイノベーション拠点を開設。コミュニティ作りと都市部企業との共創プロジェクトを通じて【変化の時代で成長していくための「熱中」を創出する】を理念に精力的に推進している。

株式会社toitoitoi
代表取締役 大島 徹也 氏



1992年4月 長崎市役所に入職。水道局部門、市民生活部門、建設管理部門、教育委員会を経て、2010年から企画財政部。財政業務に10年間従事し、2020年から現職。
長崎創生推進室において人口減少対策・地方創生の推進に向けて関係機関・部局間の調整及び企画に従事。また、産官学金労言士、市民など様々な関係者と連携した地方創生の実現に向けた窓口機能として取組み・施策を模索。

長崎市 企画財政部 長崎創生推進室
室長 久保 洋 氏



メガバンクの合併会社に出向し、Fintechやオープンイノベーションによるプロジェクトの企画・立案を行う傍ら、地方発のイノベーションを創出すべく、そのプラットフォームの構築について、都市部プレイヤーとも連携して模索。出向より帰任後は、社会課題と、都市部が持つリソース・ソリューションを掛け合わせ、地域企業と都市部企業にて新規事業を共創していくオープンイノベーションモデルの企画、プロジェクト立ち上げに従事し、「課題抽出」⇒「仮説ソリューションの構築」⇒「実証実験の実施」⇒「ビジネス化検討」の一連の流れを一貫通貫して支援実施。同モデルを地域全体にて推進支援行うべく、長崎県、長崎市の担当者らとオープンイノベーション支援団体「NAIGAICREW」の設立に関わり、「産官学が横断的連携をして、イノベーション創出を支援する枠組み」の構築についても行っている。

株式会社十八親和銀行 地域振興部
調査役 鉾先 晃生 氏

テーマ：『組織や地域を超えたオープンイノベーションエコシステム』
『イノベーションの遅れ』という課題解決に対して、組織や地域を超えたコラボレーションがオープンイノベーションの推進に繋がると考える。このコミュニティからプロジェクトやビジネスが組成されるという流れが地域内外にどのようなインセンティブがあるのかを議論する。



慶應義塾大学経済学部卒。中央大学大学院国際会計研究科修了。
税理士法人トーマツにて移転価格コンサルティングに従事後、アクセンチュア株式会社に転職し中期経営計画・PMI等を構想から実行まで一貫通貫での支援に従事。
その後、事業会社に転じ、経営企画及びデジタル戦略の責任者として、戦略の策定から実行まで含めて主導。
現在は、独立し、スマートシティ・健康寿命延伸・関係人口創出、等の官民連携プロジェクト支援を実施中。

株式会社ワークデザインラボおおすみ
取締役 伊藤 俊徳 氏



1980年長崎県西海市生まれ。2005年NCCに入社し、編成・営業・デスク業務・イベント・アニメーション制作・デジタルマーケティングなどを経験。2020年、県内で初めて「上級ウェブ解析士」に。
テレビとデジタルのリーチ力を最大限発揮させるため、NCC内に「テレビ&デジタルマーケティングラボ」を立ち上げ、2022年2月に長崎大学情報データ科学部と連携協定を結ぶ。
長崎のナイトタイムエコミーを活性化する「長崎横丁プロジェクト」は2020年から活動を始めており、複数の場所でキャラバン横丁を実施。

長崎文化放送株式会社メディアビジネス局
本社営業部長 朝長 孝至 氏



長崎県大村市出身。
不動産業に約20年間従事。穴吹興産株式会社に籍を置き、2016年に株式会社ジョイフルサンの事業承継を契機に同社へ出向。念願だった長崎への帰郷を果たす。
その後、同社の管理部門、営業部門をそれぞれ経験し、現職へ。
これまで、住宅と食を繋げる事業やサービス開発をミッションとして、分譲マンション共用部内設置型無人店舗1号店の企画や、事業譲渡（M&A）に関わる。
約2年前よりオープンイノベーションによる取組み『おさかなサブスク』のメンバーとして活動。趣味は魚釣り。

株式会社ジョイフルサルファ
執行役員 新事業開発室 室長 久保井 成正 氏



2015年長崎市役所入庁。福祉部生活福祉課にて生活保護ケースワーカーを経て、2018年には商工部産業雇用政策課に配属。
企業誘致、創業支援等に携わり、2020年からは市の重点プロジェクトの1つである「新産業の種を育てるプロジェクト」の推進に従事。都市部企業と地場企業の共創によるオープンイノベーション型の新規ビジネス創出支援等に取り組んでいる。

長崎市 商工部 産業雇用政策課
立地創業係 主事 山田 貫才 氏



元エンジニア出身。株式会社サイノウ代表取締役CEO、エンジニアカフェ 業務遂行責任者、スタートアップカフェ アンバサダー・コンシェルジュ、Fukuoka Growth Nextインキュベーションマネージャー、CO-DEJIMA 業務遂行責任者。平成20（2008）年に、AIPが運営を行っているフリースペース「AIP Cafe」に通い始め、ITコミュニティと出会う。平成23（2011）年から、テクノロジーとクリエイティブの祭典「明星和楽」にオーガナイザーとして参加。平成25（2013）年には福岡市の「Startup Cafe」に立ち上げから参画。平成28（2016）年、株式会社サイノウを設立。平成29（2017）年には福岡市の「Fukuoka Growth Next(FGN)」、令和元年(2019)年には「Engineer Cafe」に立ち上げから参画。令和4年(2022)年には長崎市に位置する「CO-DEJIMA」の運営に参画。FGN内のスタンディングバー「awabar fukuoka」、カフェ「Howlt Coffee」、Engineer Café内のカフェ「saino」も合わせて経営。

株式会社サイノウ
代表取締役CEO 村上 純志 氏

テーマ：『長崎各地の猛者集結～独自性の先にある協働を探る～』

長崎県内の様々なエリアで独自に動くキーパーソンやそのコミュニティのエネルギーによって、どんなものが生み出されているのか。それぞれ何を目標しているのか。そしてまたここからまた新たなコラボレーションの可能性を探る。



長崎県東彼杵町出身在住。地元東彼杵町八十数年前にUターンし、現在は東彼杵町を中心に長崎県の地域のコーディネーター・ローカルディレクターとして地域住民と連携した地域・文化づくりに取り組んでいる。地域交流拠点「Sorrisoriso千綿第三瀬戸米倉庫・くじらの髭・uminoわ」を中心に、周辺の古民家をリノベーションした店舗や拠点づくりをサポート。株式会社森商店、代表取締役・一般社団法人東彼杵ひとこともの公社 代表理事を務める。

一般社団法人 東彼杵ひとこともの公社
代表理事 森 一峻 氏



1983年福岡市生まれ。ラ・サール中高、早稲田大学政治経済学部卒。新卒で英進館株式会社入社。会社業務で訪れた長崎県平戸市で人生を考える。2018年、長男誕生を機に移住。個人塾「平戸いの翔塾」運営。高校の部活の先輩の出資で移住促進企業「QOLL平戸」を創業、塾の2Fをリフォームしゲストハウス「to be HIRADO」をオープン。2020年、平戸大橋と夕日を眺望する「夕やけ食堂+CAFE」をオープン。2022年、平戸市の遊休資産を買い受けプライベートビーチ付きキャンプ場「WEST END CAMP」をオープン。平戸市総合戦略審議会委員。

株式会社QOLL平戸
代表取締役 井上 翔一朗 氏



大学卒業後、Uターン入庁した市役所で出会った仲間と佐世保を再発見する自主研究活動「REPORT」をスタート。イベント企画、運営等に携わった後、リアルな場づくりの必要性を感じ、2015年、妻と同名のカフェを立ち上げる。その後も公私それぞれの立場を行き来しつつ、様々なまちづくり活動に参画。2019年これまでの活動を統合、業種を越えた新たな仲間を迎え、一般社団法人REPORT SASEBOを設立。2021年11月「佐世保への没入」を企画したサウナ付きマイクロホテル「RE SORT」グランドオープン。

(一社) REPORT SASEBO代表理事
中尾 大樹 氏



1976年福岡県生まれ。福岡県立早良高等学校を卒業後上京し、飲食業に携わる。劇団主催や、クラブミュージックのライブ演奏なども経験。1998年、福岡に戻り、父親の家業である建築業に携わる。2001年、プログラマーに転身。2004年、福岡にて株式会社ヌーラボを設立し、代表取締役に就任。株式会社ヌーラボは、現在、チームのコラボレーションを促進するWebサービス Backlog、Cacoo、Typetalk、Nulab Passを開発・運営。また、福岡本社のほか東京、京都、シンガポール、ニューヨーク、アムステルダムに拠点をもち、世界展開に向けてコツコツ積み上げ中。

株式会社ヌーラボ
代表取締役 橋本 正徳 氏



20歳の時にシリコンバレーに短期留学し、それをきっかけに取材メディアLoqui(ロクイ)を設立。大学休学中に株式会社サイノウを立ち上げ、異種交創をコンセプトに掲げるイベント“明星和楽”や、廃校を創業支援施設に活用したFukuoka Growth Next内の“awabar fukuoka”などのオーガナイザーを務める。また九州のHR市場を盛り上げるべく、SUKIMA(スキマ)というマッチングサービスも展開中。野球とお酒とサウナが大好き。

株式会社サイノウ
明星和楽実行委員長 松口 健司 氏

テーマ：『産業構造の転換へ～適応に必要な人材戦略～』

イノベーション推進をしていく上で絶対に欠かせない『教育』において、大学独自の取り組みや産学官民の連携による取り組みが生まれている。『これから長崎がどのように変化していくか』を踏まえ、このような取り組みがその他地域でも広がり、大きくなるためにあるべきコミュニティの土壌を問う。



長崎大学経済学部
教授 西村 宣彦 氏

1983年九州大学工学部卒業。1985年九州大学工学研究科応用原子核工学修士課程修了。1994年長崎大学経済学部研究科経営意思決定博士課程修了。1985年三菱重工業株式会社入社、技術本部長崎研究所研究員として2010年まで勤務。途中、2年間英国インペリアルカレッジロンドン材料工学科客員研究員となる。2010年より長崎大学経済学部へ転身、教授を経て現職。



BugsWell株式会社
代表取締役 浪方 勇希 氏

2012年東洋大学法学部卒業。人材業界で営業部門や新規事業開発を経験した後、2014年に外国人エンジニアのヘッドハンティング会社を創業。その後、東証一部上場企業に事業譲渡しグループ会社代表取締役に就任。2017年に長崎県西海市にて、西海市、親和銀行らと共同出資をし、デザインとテクノロジーを扱う地域商社を創業。代表取締役に就任。
現在は、起業家のメンタリングやコーチング、創業資金の提供を行う傍ら、連続起業家として、クリエイティブスタジオ、昆虫食、宇宙ゴミ除去などの分野で事業を立ち上げている。



国立佐世保高専
准教授 入江 英也 氏

1973年生まれ、熊本出身。熊本電波工業高等専門学校卒業後、九州工業大学編入学卒。大学3年次に学生起業。現在、株式会社コウシステム 代表取締役として、福岡/上海/バンコク/マニラにて事業展開中。2019年に国立高専初の「クロスアポイントメント制度」の第一号として 佐世保工業高等専門学校 電子制御工学科 准教授に着任。高専では情報工学を教えながら、高専生のアントレプレナーシップとグローバルマインドを育成する「佐世保高専EDGEキャリアセンター」を設立。副センター長として、様々なPBL活動をサポートする。他にも熊本大学 客員教授、熊本高専 特命客員教授を嘱託中。グロービスMBA卒。現在、九州工大 博士後期課程在学中。趣味は社交ダンスと旅行。



株式会社CAC Holdings
特別顧問 島田 俊夫 氏

2019年にCAC Holdings (プライム市場) の取締役会長を退任し、その後、情報サービス産業協会 (JISA)、企業情報化協会 (IT協会)、経済同友会等の社外団体活動に従事。
現在は、企業情報化協会 (IT協会) デジタルビジネス研究会副委員長、企業情報化協会 顧問、長崎大学経済学部 非常勤講師、長崎教育STEAM協議会 顧問、立教大学・明治大学 等 ゲスト講師 (不定期)、青山学院大学院ビジネススクール 連携協議委員会 副会長、立教大学経営学部・大学院経営学研究科諮問委員、経済同友会 幹事、株式会社バンダイナムコホールディングス 社外取締役等々を兼任。また、経済同友会「学校と経営者の交流活動推進委員会 委員」として、中学・高校への出張授業は、通算約100回登壇。



大村市産業支援センター
センター長 若杉 誠司 氏

政府開発援助 (ODA) による途上国支援事業、34歳で民間企業に移り、東京、九州で様々な新規事業立上げに従事。その後、2006年に海外企業とジョイントベンチャーでIT企業を設立、日本事業の立上げ拡大に貢献 (グローバルグループ本体は2010年に米国ニューヨーク上場) 官と民・日本企業・外資系企業、また人材ビジネス・教育・外国人留学生・IT系まで様々な分野に従事。
2017年4月より大村市産業支援センター長に就任し、長崎県全域から事業者の経営相談を受け、日々奮闘中。

11:30
▼
12:50

昼食のご案内

① DEJIMA WHARF

▶ 徒歩2-3分
出島港沿いに、中華、海鮮、カフェなど複数のお店が立ち並んでいます。

② 美術館内カフェ

▶ 徒歩1分
長崎らしいサンドウィッチやお弁当、美術館らしいデザートメニューがあります。

③ OPNERS

▶ 徒歩5-6分
水辺の森公園内に位置するレストラン。カジュアルなイタリアンです。



店舗紹介 (他にも数店舗ございます)



長崎港(魚介)



サルターレ(イタリアン)



レッドランタン(中華)



アティック(カフェ)



メニュー



カッサータ



角煮ごはん



長崎ハムサンド



メニュー



ピザ



パスタ

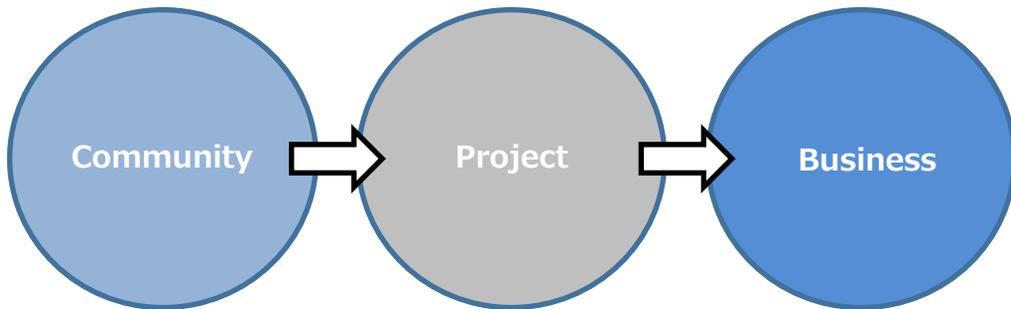


デザート



CommunityからProjectが発生し、Businessを生んでいく

事業化ありきのものだけでなく、イノベーション創出に必要な各フェーズにおいて、地方×都市のオープンイノベーションを推進し、Businessフェーズへの昇華を支援していく。



NAIGAICREWとは広域自治体・基礎自治体・メディア・金融等が横断的に連携し、地方地場企業と、都市部企業によるオープンイノベーション型新規事業創出の推進支援を行っていく関係各ステークホルダーの出島組織。

この支援部隊の機能により、長崎でのオープンイノベーションプロジェクトの動きを加速させていき、コミュニティの醸成を通じて、地域イノベーションエコシステムの構築を目指す。



CO-DEJIMAは

長崎・出島に新しいビジネスアイデアや

サービスを生むサポートを行なう交流拠点です。



協働を生むコミュニケーションの場

COMMUNICATION トークセッションやワークショップ、セミナーを通じてさまざまな人が交流し、課題やアイデアを共に発見・解決できる長崎での新しい仲間づくりを応援します。



アイデアをかたちにする場

CREATION 新しいアイデアをかたちに出来る場として様々な視点からサポートします。また、サービスを実証するための分析や検証・改良の環境として、長崎県が提供するクラウド環境を活用することが出来ます。



創造的協業につなげる場

COOPERATION ビジネス・サービス・創業に関するご相談の窓口として、ビジネスに不可欠なパートナー（県内大学・企業・市町など）とのマッチングの機会をご提供し、事業化をサポートします。



スタートアップビジネスの場

BUSINESS 起業したい・成長したいという方へ、CO-DEJIMA内の固定ブース(約4m²/有料・席数限定)の提供や、イベント・ワークショップ開催の場、チームでの共同作業の場として、事業化のヒントを得ながら無料でご利用いただけます(一部サービスを除く)。



イベントミーティング利用	インターネット無料(無線・有線)	コピー・プリンター(有料)	ビジネス書籍等設置	おかし・コーヒーサービス(有料)	固定ブース 入居者のみ	無料サーバー	24時間利用	家具付き
--------------	------------------	---------------	-----------	------------------	----------------	--------	--------	------





KYUSHU ECONOMIC FORUM.

九州経済フォーラム

創ろう、九州の新時代。
拓こう、アジアの新世紀。

九州の経済・文化の活性化を目指し
共創・共働する仲間を募集しています！

会員募集中



メールアドレスはこちら

TEL:092-753-8877

Email:kefinfo@chukeikyo.com

九州経済フォーラム 担当 下門/宮崎



KYUSHU
ECONOMIC
FORUM

本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定の取引の勧誘・取次ぎ等を強制するものではありません。

・本資料は、当社が信頼に足り目つ正確であると判断した情報に基づき作成されておりますが、当社はその正確性・確実性を保証するものではありません。

・本資料の著作権は当社に属し、本資料の一部または全部を、

①複写、写真複写、あるいはその他の如何なる手段において複製すること

②当社の書面による許可なくして再配布することを禁じます。